



electronica India



productronica India



Messe München

## ファイナルレポート

国際電子部品・アセンブリ・マテリアル専門見本市

国際電子部品製造技術専門見本市

2025年9月17日～19日

2025年9月19日

## electronica India, productronica India 2025 は

## インドのエレクトロニクス産業の躍進を鮮明にし、世界の注目を集めた

### Summary

- 来場者数は50,194人に上り、50カ国以上から6,000社を超える企業が出展するなど、国際的な広がりには前例のない規模となった。
- ターゲットを絞った国際パビリオンと2,000件を超える体系的なビジネス・マッチメイキング・セッションにより、潜在的なビジネスチャンスが具体的なパートナーシップへと転換され、商業的にも実質的な成果が生まれた。
- カンファレンスでは、政策、製造、イノベーションの溝を埋め、インドが技術大国として台頭するための、理想論にとどまらない実行可能な道筋が示された。



### Facts & Data

会 期	2025年9月17日(水)～19日(金) 10時～18時(最終日17時)
会 場	バンガロール国際展示会場 India Expo Centre & Mart, Greater Noida
主 催	Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
併 催 見 本 市	IPCA Expo 2025、LASER World of PHOTONICS India 2025
出 展 規 模	2025年:55,000 m <sup>2</sup>
出 展 企 業	50カ国以上から6,000ブランド(2024年:29カ国から839社)
来 場 者 総 数	50,194人(2024年:45,532人)
主 な 出 展 品	<p>&lt;electronica India&gt;: 半導体、センサー、リレー・スイッチ・配線技術、受動部品、モーター・駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、ED/EDA、検査・測定技術、ディスプレイ、電源装置</p> <p>&lt;productronica India&gt;: 電子部品製造、一般業務支援・製造サブシステム、PCB及びその他電気回路用製造装置及びロジスティック、ケーブル加工技術アセンブリ・モジュール・ハイブリッド用製造装置及びロジスティック、材料加工、パッケージング、製造関連サービス、はんだ付け技術</p>
専 用 U R L	<a href="http://www.electronica-india.com">www.electronica-india.com</a> / <a href="http://www.productronica-india.com">www.productronica-india.com</a>

electronica India と productronica India 2025 は、バンガロール国際展示会場(BIEC)で併行開催され、3日間にわたって活発な商談、業界動向に関する意見交換、技術探究が展開された。50カ国以上から6,000社を超えるグローバル企業が出展し、来場者数は50,194人に上るなど、両見本市は、インドが、世界のエレクトロニクス製造業界において存在感を高めつつあることを改めて示す機会となった。

メッセ・ミュンヘン・インディアが主催する両見本市は、設計、コンポーネント、組み立て、自動化、組み込みシステム、品質管理に至るまで、エレクトロニクス製造のバリューチェーン全体を網羅する戦略的な交流の場として、今後も継続的に機能していく。大手グローバル企業がこの両見本市を活用して地域拠点の強化を図る一方、インドの製造企業、EMS(電子機器受託製造)企業、材料サプライヤーは、国際的な輸出パートナーシップの獲得を視野に入れ、高度な技術力を積極的に披露した。



カルナータカ州政府からは、カルナータカ州イノベーション・テクノロジー協会(KITS)のマネージング・ディレクター Shri. Rahul Sharanappa Sankanur 氏、カルナータカ州政府の産業商業局コミッショナー Smt. Gunjan Krishna 氏が出席。そして、タミル・ナドゥ州政府からは、ガイダンス・タミル・ナドゥ(投資誘致・産業振興を担う州政府機関)のマネージング・ディレクター Dr. Darez Ahamed 氏が登壇し、エレクトロニクス製造拠点の育成に向けた州レベルでの継続的な取り組みを改めて表明した。また、日本、台湾、ドイツによる国際パビリオンも際立った存在感を示し、インドのダイナミックなエレクトロニクス・エコシステムへの参入を目指す国際企業にとって、この両見本市が重要なゲートウェイであることを鮮明に印象づけた。

事前調整のもとに設けられたバイヤー・セラーフォーラムは高い成果を上げ、2,000件を超える計画的な商談に結びついた。自動車、産業オートメーション、民生用電子機器といった主要分野のソーシングチーム(Samsung社、Spark Minda社、Jio Platforms社などのリーディング企業を含む)が、部品メーカーやソリューションプロバイダーと直接的な対話を行った。議論は主に、リードタイムの最適化、現地在庫の確保、コストエンジニアリング戦略の導入、サプライヤー育成の推進といったテーマに集中した。これらは、いずれもグローバル・サプライチェーンの強靭性を支える重要な要素である。

Rohit Sharma 氏(インドを代表する国際的クリケット選手)が electronica India と productronica India 2025 の顔として起用されたことで、両見本市は業界関係者以外にも広く関心を引き起こした。彼の参画によって、見本市の核心メッセージが、テクノロジーへの関心の高い広範囲の層に伝わり、インドにおけるエレクトロニクス製造の社会的意義の高まりが改めて浮き彫りとなった。

## 出展者の声

出展者からは、商機につながる有意義な交流が一貫して報告されている。electronica India 2025へ出展している京セラ・アジアパシフィック・インディア社のマネージング・ディレクター Sanjay Kumar 氏は、「今年のバンガロール開催では、出展の充実度と専門性の高さが際立っており、非常に印象的であった。国際パビリオンでは、通常であれば複数の地域展示会を回らなければ接触できないコンポーネント・サプライヤーと、直接つながることができた。」と述べている。



プロセス重視のテクノロジー・プロバイダーにとって、その有用性は明らかであった。productronica India2025に出展している Kaynes Technology

India 社のビジネス開発部門の最高責任者 Gaurav Mehta 氏は、「私たちが感銘を受けたのは、問い合わせ件数の多さだけでなく、その技術的な具体性であった。インドの製造企業は、もはや単なる自動化の話ではなく、Industry 4.0 の統合パラメータや機械学習の活用可能性について議論を交わしている。今回の見本市では、防衛・航空宇宙、IT/IoT、医療、自動車、半導体、ペア基板、産業機器、民生機器など、幅広い分野から関心が寄せられた」と述べている。

### [来場者の声はこちら](#)

なお、2026 年より、electronica India と productronica India は、毎年、4 月にグレーター・ノイダで、そして 9 月にバンガロールで開催する「年 2 回開催体制」へと移行します。この戦略的な変更は、市場へのアクセス機会を増やし、地域ごとに異なるビジネスサイクルとの整合性を高めることにより、加速するインドのエレクトロニクス産業の動きに対応するものです。

#### electronica India 2025 主な日系出展社(50 音順)

旭有機材(株)、アネスト岩田(株)、イリソ電子工業(株)、SMK(株)、奥野製薬工業(株)、京セラ(株)、(株)キョウデン、コーセル(株)、新電元工業(株)、進工業(株)、スミダコーポレーション(株)、太陽誘電(株)、TDK(株)、(株)東邦鋼機製作所、ニチコン(株)、ニデックアドバンステクノロジー(株)、日精テクノロジー(株)、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)、浜松ホトニクス(株)、日置電機(株)、萩原電気ホールディングス(株)、パナソニック(株)、本多電子(株)、三井金属鉱業(株)、(株)村田製作所、(株)山田ドビー、ルネサス エレクトロニクス(株)、ルビコン(株)、ローム(株) 他

#### productronica India 2025 主な日系出展社(50 音順)

アズビル(株)、(株)イトー、NKK スイッチズ(株)、オムロン(株)、(株)キーエンス、協立電機(株)、(株)サキコーポレーション、サンユレック(株)、(株)芝浦電子、双日(株)、第一実業(株)、日本オートマチックマシン(株)、パナソニック(株)、日本電気硝子(株)、富士化学産業(株)、富士高分子工業(株)、富士フイルム(株)、(株)ミスミグループ本社、(株)ミットヨ、武蔵エンジニアリング(株)、(株)山善、菱洋エレクトロ(株) 他

見本市の詳細情報は、専用ホームページをご参照ください：

electronica India: [www.electronica-india.com](http://www.electronica-india.com)

productronica India: [www.productronica-india.com](http://www.productronica-india.com)

#### 資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語/ドイツ語)